



教育委員つうみ

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 岩原 勝行
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
委員 吉田 一徳



弟子屈町教育委員会
〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

「博物館」

教育委員 吉田一徳

今年は天気が悪く、農作業がはかどらない。
曇天を眺めつつ近隣の博物館へ行ってきました。
まずは釧路市立博物館。イトウと釧路川の淡水魚という企画展があったので、行ってみました。パネルと解説文のみ。ちょっと残念でした。常設展示は自然史やアイヌ、開拓史等ひと通りのものがそろっていて、北海道らしい展示です。
もう一つ、美幌町の美幌博物館ですが予想を裏切る良い展示でした。規模自体は小さいものの、展示は充実しており、特にトラクターの実物や地元のため池に住むヤチウグイの展示は興味をそそられました。
また、展示解説の他に印刷物が多くあり、細やかな情報を知ることができましたし、子供達に虫取り網を貸し出しするなど携わる方々の意気込みが感じられました。



最近の博物館はタブレットでの解説やITを駆使した展示が主流になっていますが、そこまでできなくても観客を満足させ、また行きたいと思わせる手法がまだまだあると思います。

北海道の博物館はアイヌ文化・開拓史・ヒグマ等はいく製が定番ですが、そこから如何にdeepな世界に引き込めるかが腕の見せ所だと思います。

わが町のアイヌ民族資料館は超オールドスタイルですが、知恵と努力で新規やリピーターを獲得してほしいと願います。



教育あっちこっち情報

「オンライン授業について」

教育委員 金井 秀明

コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され、6月1日から学校が再開されました。しかしコロナウイルスが無くなったわけではなく、国内でも局所的に、世界的にはまだまだ猛威を振るっています。次に来るかもしれない感染拡大で、再び休校になる可能性もあります。また北海道は吹雪や、インフルエンザによる休校もあります。そこで今後活用されていくのが双方向によるオンライン授業だと思います。オンライン授業に関しては利点、欠点共にありますが、それを踏まえたうえで上手に付合っていくべきだと思います。また地域や家庭によって格差が生まれてもいけません。すべての子供が平等に恩恵を受けられるようにするのも、我々の務めだと思います。



オンライン授業 (Zoom)

『食べて応援！弟子屈エール弁』

教育委員 菅原 誓之

コロナの影響で観光客が減少する中、町内飲食店を応援する企画が4月24日から始まったことはご存知でしょう。私も微力ながら応援しようと、全9回の内、4回目から購入させていただいた。役場や郵便局、銀行職員ではない私は、役場の友人を通じて毎週申し込みをしてもらった。一律800円で、町内9軒の飲食店のお弁当がランダムに食べられるということもあり、毎週金曜日(抽選・発表日は木曜日)が徐々に楽しみとなっていった。結局最終6月26日まで、5軒の飲食店弁当を楽しむことができ、少しは「食べて応援！」に貢献できたと思う。今まで金曜日が待ち遠しかった分、逆に少しさみしい金曜日になってしまったこの頃です。



川湯小学校の地域参観日に行きました

職務代理 榎本 悦子

新型コロナ禍の中、言うまでもなく様々な学校行事も中止となりました。全国的に感染者が少なく落ち着いている7月初旬、川湯小学校の地域参観日があり久々に学校に行きました。小規模校ではありますが、「密」にならないように参観は2日用意されていました。生徒達はマスク着用ながら以前と同じように元気に授業を受けていました。音楽の授業は合唱ができないのでリズムを取る内容が中心になっていたり、これまでと違う授業が行われていました。全国的に見ると終息どころか今がどの地点にあるのか分からないコロナウイルスに翻弄される現在ですが、感染に気をつけながら学校生活を楽しみ少しずつ行事ができるようになればと思います。



「おはなしはらっぱから絵本の寄附」

教育長 岩原勝行

7月14日、絵本の会「おはなしはらっぱ」から図書館に絵本の寄附がありました。古本市での収益金によって購入した15冊の幼児向け絵本が笹島会長と橋田副会長から贈呈されました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、同会が毎週行っている読み聞かせは2月から中止しておりましたが、7月に入り図書館や学校での読み聞かせ活動を再開したそうですが、感染症対策を念頭に置いた活動にならざるを得ないということです。絵本の寄附は2年に1度ということですが、今回寄附された絵本は、どれも最新の人気作家によるもので、子ども達にもきっと楽しく読んでもらえる本ばかりです。図書館は「おはなしはらっぱ」のようなたくさんの有志の方々に支えられています。心から感謝申し上げます。



近郊にあるお気に入りの博物館を一つ

教育委員 吉田一徳

足寄町にある動物化石博物館は、アショロアを始め数多くの化石や骨格標本を展示しています。展示も良いのですが、素晴らしいのは年に数回ある化石教室で、実際にフィールドで化石発掘できることです。写真は数年前に阿寒の山中で発掘したタカハシホタテで手のひら大の大きさがあり、稀に動物の化石も出るようです。このホタテ、このサイズなら貝柱はどのくらい？



★★ 編集後記 ★★

右も左もコロナ禍です。学校行事も中止や延期、社会教育事業も同様です。当コラムも始めて以来ですが、各行事がないため各委員の情報収集も大変でした。あしからず・・・。

(菅原)